

パラダイムシフト「視点を変える」

国府津中学校 二年 小川 愛留

パラダイムシフトとは、パラダイムが「シフト(移動)」することを指し、その時代の規範となる考え方や価値観などが大きく変わることを行います。一般的には「見方が変わる」「固定観念を破る」という意味で使われます。

私は人生において重要だと思ふことは、ひと目みただけで決めつけるのではなく、他の視点からもみて考え方を变えることが大切だと思ひました。例えば、最初の印象だけで判断して自分とはあわないと勝手に思ひ込んでしまつて、せつかくの出会いを無駄にしてしまうという経験一度はあるのではないのでしょうか？逆に考える前に行動し、その結果将来死ぬまで仲の良い親友になるきっかけにもなる可能性があるのです。この2人の違いは、まさに人生をポジティブに生きているのかネガティブに生きているかの違いだと思ひます。ポジティブに生きている人はいつでも余裕をもつていて一番最初にみた思ひ込みを考える前にまづは行動して、一つみたことよりも視点を变えていくことができるのです。

〜偏見と第一印象〜

今までこの人苦手だな、自分とはちょっと合わないなぞそうと思つていた人も話してみれば案外この人面白いかもと思つたことがあり一回話しただけ、最初の印象で決めつけるのではなく、まづは行動することが大切だと思ひました。考えるよりも先にまづは行動して、時間は有限だからその限られた中でもどれだけ楽しめるかで人生は変わってくると思ふので、まづは行動することが人生において得だなと思ひました。

〜行動による変容〜

他の視点からもみて考え方を变えることが大切だと思ひました。通常、私たちは先入観や偏見に基づいて物事を判断する傾向がありますが、行動を起すことで新たな視点が開かれる可能性があります。たとえば、自分が興味を持つていなかった趣味や環境に触れてみることで、未知の価値や可能性に気づくことがあります。自分自身の中に存在する固定観念や壁を破壊し、新しい物事を考えるきっかけを作ることによって、私たちの世界観や人生観を根本的に变える力があるのです。他の視点から物事を考えることは、人生において非常に大切なスキルなのだと思います。

〜ポジティブとネガティブの生き方〜

将来まで仲良くなる親友ができるかもしれません。第一印象や偏見でこの人と話すことはやめようと思つて話しかけずにいたら、友達の幅が狭くなるだけで、この人と一緒にいた

ら人生もっと楽しめたかもしれない出会いをなくすことになるのです。失敗を恐れずにチャレンジする人とそれを恐れて後悔する人どちらの方が人生を楽しめると思いますか？もちろんチャレンジをたくさんする人ですよ。チャレンジすることで心と友達の範囲が広がり、人生を楽しめる時間が増えます。一日は二十四時間というみんな平等にある時間の中でも、私は一番楽しめる人になりたいです。

～総括～

自分の固定観念にとらわれずに先生や友達が発言したことを相手の立場になって、どうしてそのように考えたのかを自分なりに解釈しなおすことで、新しい気づきや価値観を手に入れることによって人生が豊かになると思いました。